

「東方医学」投稿規程・執筆要領のご案内

I 投稿規程

本誌は、日本東方医学会の会誌です。広く東方医学に関連する研究成果の発表ならびに当学会の活動を含め情報交換を主な目的とし、年1回（10月予定）発行しています。

1) 内容

他に公表していないものに限りです。

2) 掲載区分および字数 * () 内の数字は制限字数の目安です。

【原著】：(12000字：約10頁)

目的、対象・方法、結果および考察の明快なもので、独創的な学術論文

【臨床経験】：(6000字：約4頁)

症例の報告

【基礎と臨床】：(6000字：約4頁)

原著や総説に該当しないもの

【緒論】：(8000字：約6頁)

理論と論説に加えて意見、主張、提案など

【東方医学の広場】：(1000字：約1頁)

東方医学分野における情報・意見交換

【短報】：(1000字：約1頁)

レター、原著論文または報告に関する意見・質問

【文献紹介・書評】：(800字：約1/2頁)

東方医学分野に関するもの

【総説】：(12000字：約10頁)

多数の文献考察を行って論点を明らかに、著者自身の考察を加えて問題を紹介評論しているもの

【雑話】：(6000字：約4頁)

新しい提言が含まれるが、現在のところ証明は十分には行われていないもの

【その他】：(文字数等は不定)

上記のいずれにも属さないもの（学会からの依頼原稿など）

(注意：図・表・写真は原則として1点400字として換算して下さい)

3) 掲載料金

【文献紹介・書評】、【短報】、【東方医学の広場】以外は、刷り上り10頁（制限字数内）まで掲載無料で、超過分は1頁あたり10,000円とします。

4) 投稿資格

筆頭著者は、本学会の会員に限ります。

5) 論文の採択および掲載までの過程

編集委員が査読責任者となって 2 名の査読者を選び、その結果をもとに編集委員会において決定します。2 名の査読者の判定が分かれた場合には、編集委員会の下において採否を決定します。ただ新たにもう 1 名の査読者に査読を依頼する場合があります。

*掲載までの過程は、学会会員（入会）— 論文投稿 — 受付 — 執筆基準のチェック — 査読 — 編集委員会・編集長の受領（受理）— 掲載（データ公開）の流れです。

希望者には、受付と受理の際に証明書を発行できます。執筆基準のチェックおよび査読の段階で、内容によっては疑問点、改善希望などを掲示し、再投稿をお願いする場合があります。採択されない場合もあります。

6) 掲載順

採用が決定した場合の掲載は、受理の順を原則とします。ただし、各号の特集などに合わせるために掲載順は受理の順に合わない事もあります。

7) 著作権

本誌掲載文の書面上および Web 上での著作権は日本東方医学会に所属するものとします。

8) 倫理審査について

人を対象とした研究は「個人情報・研究 倫理と法令に関する 申告書」を提出ください。

9) その他

お寄せいただいた【文献紹介・書評】、【短報】、【東方医学の広場】の投稿に関しては、編集委員長のもとで検討の上、採否を決定させていただきます。

II 執筆要領

1) 一般的注意

- 1,和文原稿、英文原稿共に、word による原稿のスタイルとする。
- 2,中文要旨の掲載も推奨されるものである。
- 3,「原著」および「臨床経験」「基礎と臨床」「緒論」は、和文および英文論文とも、400 語以内の英文要旨と 600 字以内の和文要旨を付す。
- 4, 論文は論旨の展開に一貫性をもたせ、明確な用語を用い、論理的な文章でなければならない。
- 5,提出は電子メールに添付するか、USB メモリ、CD-R で提出して下さい。

2) 原著論文作成にあたっては、各項を通して頁をつけ、次の諸点に注意してください。

(1)表紙 (Title)

表題、著者名、所属機関名（研究室名、教室名まで記載する）すべてを和文と英文で記載する。表題中には略語、商品名を用いない。

(2)要旨 (Abstracts)、キーワード (Key words)

要旨は論文の本質的な特徴を示し、簡潔にまとめ、和文(600字以内)および英文(400語以内)で併記する(中文要旨を掲載する場合は600字以内)。各用紙の下に和文、英文ともキーワード(10語以内)を記載する。英文要旨は、**native speaker** にチェックを受けること。

(3)本文の記載順序は次の体裁が望ましい。各項目には番号を振ること。必要に応じ、各項目を統合、省略しても良い。

1) はじめに (Introduction)

2) 目的(Objective)

3) 対象又は材料と方法 (Subjects, Materials and Methods)

《留意事項》必要に応じて1)や(1)、①などを用いて詳細を分割して示すこと。

4) 結果(Results)

《留意事項》必要に応じて1)や(1)、①などを用い、わかりやすい工夫をすること。

5) 考察(Discussion)

《留意事項》結果の章立てに対応する形をとり、1)や(1)、①などを用いてわかりやすい工夫をすること。

6) 結語(Conclusion)必要ならば

《留意事項》工夫して簡潔明瞭に書くこと。

7) 謝辞(Acknowledgements) 必要ならば

8) 引用文献(References)

3) 引用文献について

- すべての引用文献は、本文中においては順次に番号をつけ、下記の例に従って本文の終りに番号の順序に列挙する。
- 引用雑誌は文献ごとに著者名(筆頭者のみでそれを超える著者名については日本語論文の場合は「他」、英語論文は”et al”とする)、論文名、雑誌名(略記)、巻、頁一頁、年(西暦)をこの順序で明記すること。ただし巻数の記載を欠く雑誌を引用する場合は、巻の代りに通し号数、または発行年月日を記入する。但しメーカーの発行する販売促進用雑誌からの引用は認めない。
- 書籍(単行本)の場合は、著者名(筆頭者のみでそれを超える著者名については日本語論文の場合は「他」、英語論文は”et al”とする)、書籍名、版数、頁一頁、発行所、発行地、発行年(西暦)をこの順序で明記すること。
- 古文書の場合、江戸時代以前の国書については、原則として、編著者名・書名・成立年・刊行年(もしくは抄写年)・発行者名・発行地および該当丁(葉)数(表、裏)あるいは頁数もしくは項目名をこの順序で記し、稀観本については所蔵者名も明記する。清代以前の漢籍(和刻本・日本写本も含む)についても、前記に準ずる。中国文献の場合は、日本で使用の漢字に直して記載する。

(例)

1)山本竜隆, 他: 東洋医学および代替医療実習の試みと医学生に関心度. 医学教育, 31 (3) : 177-181, 2002

2)谷美智士: 東洋医学と西洋医学. 45-70, プレジデント社, 東京, 1991

3)Michio Tani et al: The Effect of Long-Term Herbal Treatment for Pediatrics AIDS. American J Chinese Med., 30 (1) : 51-64, 2002

- * 図表は鮮明でそのまま印刷できるものを用いる。図版作成の実費は著者の負担とする。写真データは JPEG、PNG、GIF 形式のいずれかを用いること。
- * レイアウト形式は編集委員会に一任するものとする。著者構成は原則として 1 回(本文字句と図表の確認のみで、レイアウトの確認は含まれない)とする。著者再校(レイアウトの確認)を希望するものは、あらかじめその旨初校の際に添え書きすること。著者再校に置いては明らかな誤り以外の字句の訂正はできません。
- * 掲載原稿、および USB メモリ等記録媒体は原則として返却しません。
- * 原稿は下記へ原則としてメールで送付してください。

一般財団法人東方医療振興財団 日本東方医学会 事務局 編集委員会宛

E-mail : gakkai@iptoho.or.jp

〒104-0045 東京都中央区築地 6-4-5 シティスクエア築地 404

TEL : 03-6264-3015 FAX : 03-6264-3016

III その他

上記投稿規程、執筆要領に不都合および追加が発生した場合は、編集委員会の決定により改訂、追加されます。